

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和8年3月18日
タイトル	「農林水産業の男女共同参画社会を進める研修会」へ参加して
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和8年3月3日（火）、広島市の広島ガーデンパレスにおいて「農林水産業の男女共同参画社会を進める研修会」が開催され、広島県内の農林水産業に携わる女性の団体として農業委員会ウーマンネット広島、JA広島県女性組織協議会、広島県漁協女性部連合会、ひろしま水土里ネット女性の会の関係者98名が参加しました。

ひろしま水土里ネット女性の会からは、会員である土地改良区の理事や職員が参加しました。

開会では、来賓として広島県で女性初の知事に就任された横田美香知事の「広島県の農業水産業は重要であり礎である。」という祝辞が印象に残りました。



ふるさと広島の農林水産業や自然、子ども達の未来を思う気持ちはみんな一緒です！

基調講演は、日本農業新聞論説委員長の鈴木祐子氏が「私たちはどう生きるか。～つながる力で未来を変えよう～」と題して講演されました。

地域や暮らしの中に潜む「無意識の思い込み」や農山漁村での女性の生き方が、令和になっても以前と変わっていないことがあることなどお聞きしました。男女の区別なく「私らしく」生きられる社会は男性も女性にも優しい社会であるとのお話に共感しました。

講演後の質問では、各団体の女性理事登用割合の目標や団体での女性理事の活動などのお話や子育てをしながら理事をしていることなど様々な意見を聞くことができました。

つぎにJA広島県女性組織協議会 榎木美喜会長より「広島県農林水産業女性の会ネットワーク化を協議するための提案書」が提案されました。

男女共同参画社会基本法などにより農林水産業関連団体では男女共同参画の推進が進められており、豊かな農林水産業を実現し、誰もが安心して住み続けられる地域をつくることは重要な課題であることから、広島県内の農林水産業に関わる女性組織が互いの経験や課題を共有し、学び合いネットワーク化を協議することへ賛同しました。

参加者から「どのような組織になるのか。」「どんな活動をするのか。」「予算はどうするのか。」などの意見が出ましたが、農業委員会ウーマンネット広島 道下和子会長の「それぞれの団体の会員の声をすくい上げていく今日はその第一歩です。共に広島の農林水産業を考えましょう。」との言葉に、参加者全員が大きな拍手で賛同しました。

閉会では、ひろしま水土里ネット女性の会 猪垣ふみよ会長の発案により参加者全員で童謡「ふるさと」を合唱しました。それぞれの立場で広島県の農林水産業を思いながら合唱し、会場に一体感が生まれました。

他団体の活動や課題など、経験してこられた事をお聞きし、ひろしま水土里ネット女性の会や水土里ネット福山の活動に活かしたいと思いました。

今回の研修が新たな一歩として広島県内の農林水産業の持続的な発展に繋がることを期待します。